

## 歯科医院での標準予防策を万全に！

### (新型コロナウイルス感染の懸念 歯科医院の5割が危ない理由に関連して)

新型コロナウイルス感染症の広がりを見せ、各歯科医療機関では感染対策に余念がないものと思います。

診療は、医師・歯科医師と患者が直接対面して行われることが基本であり、今回のような感染症がひとたび発生すれば、医師、歯科医師に限らず、看護師、歯科衛生士などはその危険にさらされることは言うまでもありません。

しかし、医療従事者は標準予防策(スタンダードプリコーション)を実践し、診療しており、そのための予防策は十分行っているものと思います。

さらに歯科医師会では平素より「HIV 感染症対策」にも取り組んでおり、会員研修会の開催・ガイドブックの作成等を行いより一層の安全対策を周知しています。

これらの取り組みは行政機関にも認知されており、歯科医療機関に対して新型コロナウイルス感染症に対しての特別な対応指示が行われていないことから、現状、安心・安全が担保されているとご理解いただけるものと思います。